



発熱・のどの痛み 溶連菌感染症にご注意を

感染症発生動向速報

(平成30年第45週分・11月5日～11月11日)

《インフォメーション》

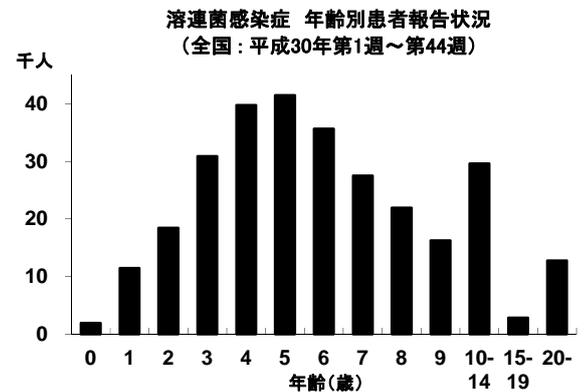
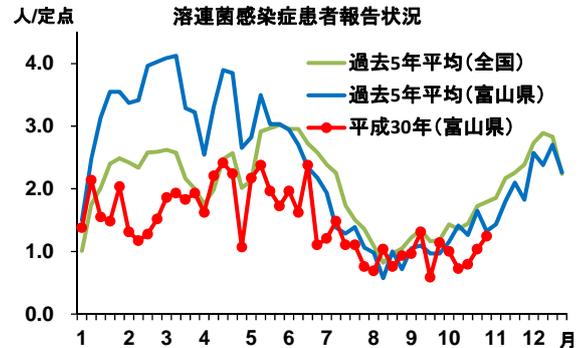
●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌感染症)

今週、溶連菌感染症の報告数が定点医療機関あたり1.93人となり、先週(1.24人)より増加しました。この感染症は冬～春にかけて報告数が増加するので注意が必要です(右上図)。

溶連菌感染症は、A群溶血性レンサ球菌が原因となる疾患です。全国における2018年(11月4日まで)の年齢別の割合は5～9歳で49.2%、1～4歳で34.6%、10～14歳で10.2%と、小児の年齢で高くなっています(右下図)。潜伏期は2～5日であり、突然の発熱(38～39℃)やのどの痛み、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。体や手足に小さくて赤い発疹が出たり、舌に赤いブツブツができたりすることもあります(イチゴ舌)。気管支炎を伴うことも多いです。抗生物質の投与により治療できるため、治療経過は一般的に良好ですが、症状が消失しても医師が処方した期間までは薬を飲み続けることが大切です。

家庭での兄弟間や学校、幼稚園、保育園などの小児集団生活施設内での感染が多いので注意しましょう。

溶連菌感染症は人のせきやくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれる細菌によって感染します(飛沫感染)。また、排出された細菌が手や食品などを介し、口に入ることによっても感染します(経口感染)。**感染予防のために、手洗いやうがいを心がけましょう。**



《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 5件 (①30歳代、男性 ②50歳代、女性 ③～⑤すべて60歳代、女性)
 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (60歳代、男性)
 百日咳 1件 (10歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	5.83 (↑)	5.17
2位	RSウイルス感染症	2.00 (↓)	2.31
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.93 (↑)	1.24
4位	咽頭結膜熱	0.90 (↑)	0.55
5位	流行性角結膜炎	0.57 (↑)	0.14
6位	手足口病	0.52 (↑)	0.41

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
 アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

平成30年11月14日
 富山県感染症情報センター
 (0766-56-5431 直通)
 (0766-56-8142 細菌部)
 (0766-56-8143 ウイルス部)

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第45週 平成30年11月5日～平成30年11月11日）

分類	疾患	今週報告分（第45週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核			4		1	5	9	13	54	18	82	176	
三類感染症	細菌性赤痢										1		1	
	腸管出血性大腸菌感染症							3	4	4	3	11	25	
	パラチフス											1	1	
四類感染症	E型肝炎							1		1	1		3	
	A型肝炎											4	4	
	つつが虫病							2				1	3	
	デング熱										3		3	
	レジオネラ症							4	1	8	4	22	39	
五類感染症	アメーバ赤痢										1	1	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4		10	14	
	急性弛緩性麻痺										1		1	
	急性脳炎							2		1	1	2	6	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4	1	6	2	6	19	
	侵襲性インフルエンザ感染症							2		2		1	5	
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	2	2	8	4	17	33	
	水痘（入院例）							2		2		3	7	
	梅毒									1		12	13	
	播種性クリプトコックス症											3	3	
	百日咳		1				1		1		9	12	22	
	風しん									4	1	4	9	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ		2		1	7	10	2,232	1,826	3,491	2,452	5,371	15,372
				0.40		0.14	0.44	0.21						
RSウイルス感染症		3	1	10	7	37	58	70	41	270	109	692	1,182	
		0.75	0.33	1.25	1.75	3.70	2.00							
咽頭結膜熱		3		10	1	12	26	229	78	268	34	318	927	
		0.75		1.25	0.25	1.20	0.90							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	5	17	5	26	56	163	123	573	221	836	1,916	
		0.75	1.67	2.13	1.25	2.60	1.93							
感染性胃腸炎		35	21	45	5	63	169	1,235	840	1,346	235	2,947	6,603	
		8.75	7.00	5.63	1.25	6.30	5.83							
水痘		1			1	5	7	23	6	94	60	116	299	
		0.25			0.25	0.50	0.24							
手足口病					9	6	15	11	13	111	124	132	391	
					2.25	0.60	0.52							
伝染性紅斑			1	1		1	3	7	4	93	44	46	194	
			0.33	0.13		0.10	0.10							
突発性発しん		2	1	4	1	5	13	59	47	206	51	156	519	
		0.50	0.33	0.50	0.25	0.50	0.45							
ヘルパンギーナ		5	3	5		1	14	122	115	331	103	285	956	
		1.25	1.00	0.63		0.10	0.48							
流行性耳下腺炎						1	1	5	11	22	4	41	83	
						0.10	0.03							
急性出血性結膜炎										2	14	1	17	
流行性角結膜炎				2	1	1	4	2	18	21	5	7	53	
			1.00	1.00	0.50	0.57								
細菌性髄膜炎											5	5		
無菌性髄膜炎											2	2		
マイコプラズマ肺炎							7	4	6	6	11	34		
クラミジア肺炎										1	3	4		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		4	2	7	16		
インフルエンザによる入院患者（*）				1		1				2		2		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)への集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年10月分）

		10月報告分					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1			8	9	3	4	18		77	102	
			1.00			2.00	0.90							
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症					2	2		6	4	1	14	25	
						0.50	0.20							
	尖圭コンジローマ				1		1			3	13	13	29	
						1.00		0.10						
	淋菌感染症					2	2			1		23	24	
							0.50	0.20						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1	5	1	5	12	10	23	15	19	42	109	
			1.00	5.00	1.00	5.00	2.40							
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1		1	2	3		16	2	9	30	
				1.00		1.00	0.40							

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。